



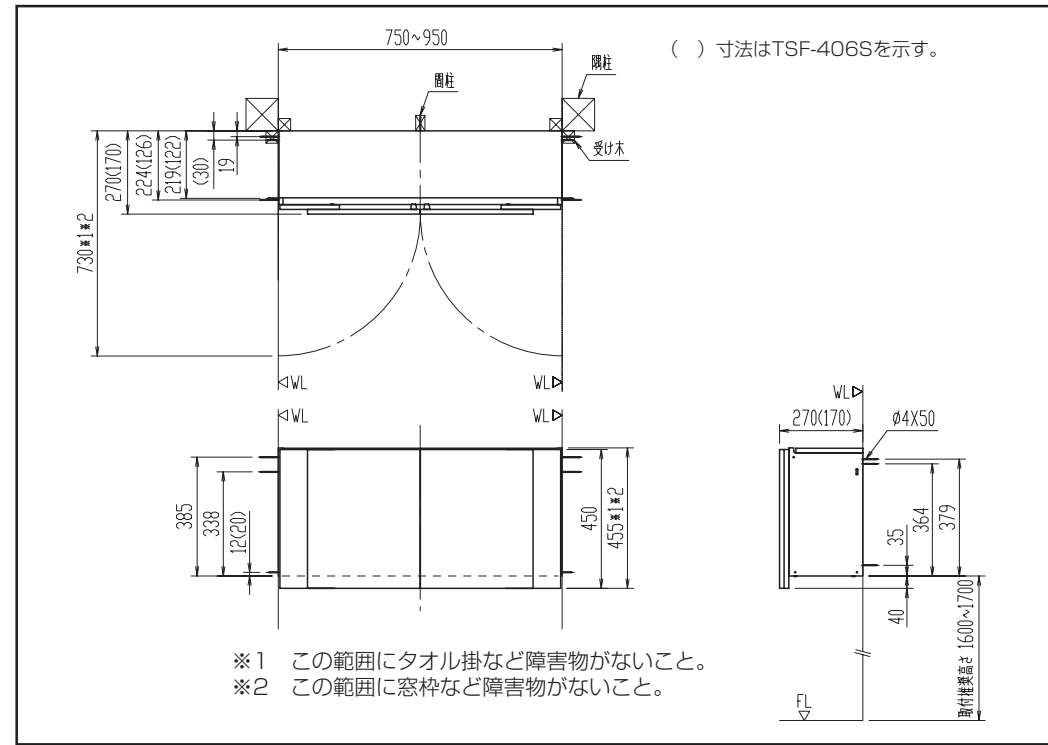
メーカー推奨です。

アップーキャビネット

TSF-406、406S、TSF-415

商品の機能が100%発揮されるよう、本説明書の内容を十分ご理解のうえ正しく施工してください。
なお施工完了後、この施工説明書を同梱の「ご愛用フォルダー」に入れてお客さまにお渡しくださいます。

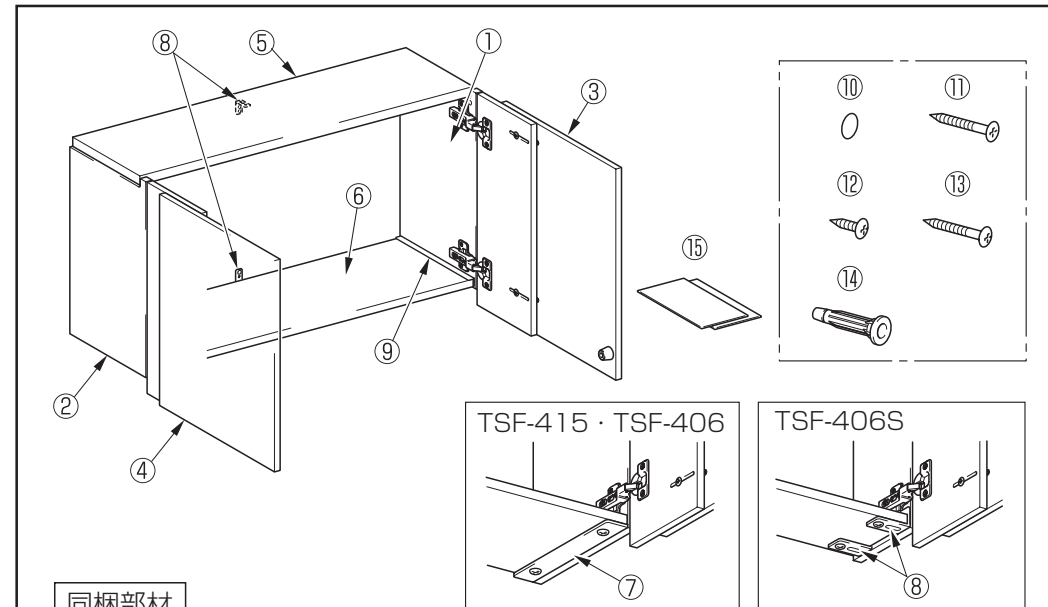
● 施工完了図



● 取付前の確認事項

- 左右両側に壁があること。
- 間口は 750mm ~ 950mm であること。
- 間柱中央に間柱があること。柱の横に受木（壁仕上げ面から 30mm 以上）あること。
- 取付壁面に窓、換気扇、梁などないこと。
- 取付高さは使い勝手上、床面から底板までを 1,600 ~ 1,700mm にすることを推奨します。
- 製品には背板が付いていません。あらかじめクロスなどの壁仕上げをした後に施工してください。

● 各部の名称と同梱部材



同梱部材

No.	部品名	数量	
		TSF-415・TSF-406	TSF-406S
①	右側板	1	1
②	左側板	1	1
③	右扉	1	1
④	左扉	1	1
⑤	天板	1	1
⑥	底板	1	1
⑦	固定金具	2	—
⑧	L字金具	2	6
⑨	小口化粧カバー	1	1
⑩	ビス頭化粧シール	4	4
⑪	スプーンねじ φ4.2×75	4	4
⑫	化粧ねじトラスφ4×12	5	9
⑬	化粧ねじトラスφ4×50	7	7
⑭	プラスチックアンカー	4	4
⑮	取扱説明書、施工説明書	各1	各1

株式会社 LIXIL 商品・施工方法についてのお問い合わせは、お客さま相談センターまで

ナビダイヤル TEL 0570-017-173

受付時間 平日 9:00~18:00 土日・祝日 9:00~17:00 (ゴールデンウィーク・夏期・年末年始の休みは除く)

● 安全上のご注意

- 施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しく施工してください。
- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 施工完了後、正常に作動することを確認するとともに、取扱説明書にそってお客さまに使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
- この施工説明書は、取扱説明書と共にお客さまに保管頂くように依頼してください。

用語および記号の説明

- 警告** …… 「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡又は重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」
- 注意** …… 「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか又は物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」
- …… 「注意しなさい！」(上記の「注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。)
- …… 「してはいけません！」(一般的な禁止記号です。)
- …… 「分解してはいけません！」
- …… 「指示通りにしなさい！」(一般的な行動指示記号です。)

警告

修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。
※破損やケガをする恐れがあります。

ストーブやヒーターなど熱を発生するものの近くに置いて使わないでください。
※変色や変形、火災をおこす恐れがあります。

取付けがゆるんだ状態での使用はしないでください。施工完了後は各部にガタツキのないことを確認してください。
※物品類の落下、部材の外れによりケガをする恐れがあります。

スライド丁番の調整のときは、Aねじ、Bねじ、Cねじ以外のねじを絶対にゆるめないでください。
※扉が落下し、ケガをする恐れがあります。

商品にもたれたり、たたいたり、強い衝撃を与えたり、固いものをぶつけたり、冷水・熱湯などをかけたりしないでください。
※破損やケガをする恐れがあります。

扉の取付は、キャビネットを壁固定した後に行ってください。
※本体に扉をつけた状態での施工は、スライド丁番に過大な負荷がかかる原因となり、扉脱落の恐れがあります。

注意

キャビネットの棚に物品を過剰にのせたりしないでください。
※破損や落下によりケガをする恐れがあります。
(棚の許容積載質量は取扱説明書をご覧ください。)

木製品のため、浴室および湿気が多い場所の設置は避けてください。

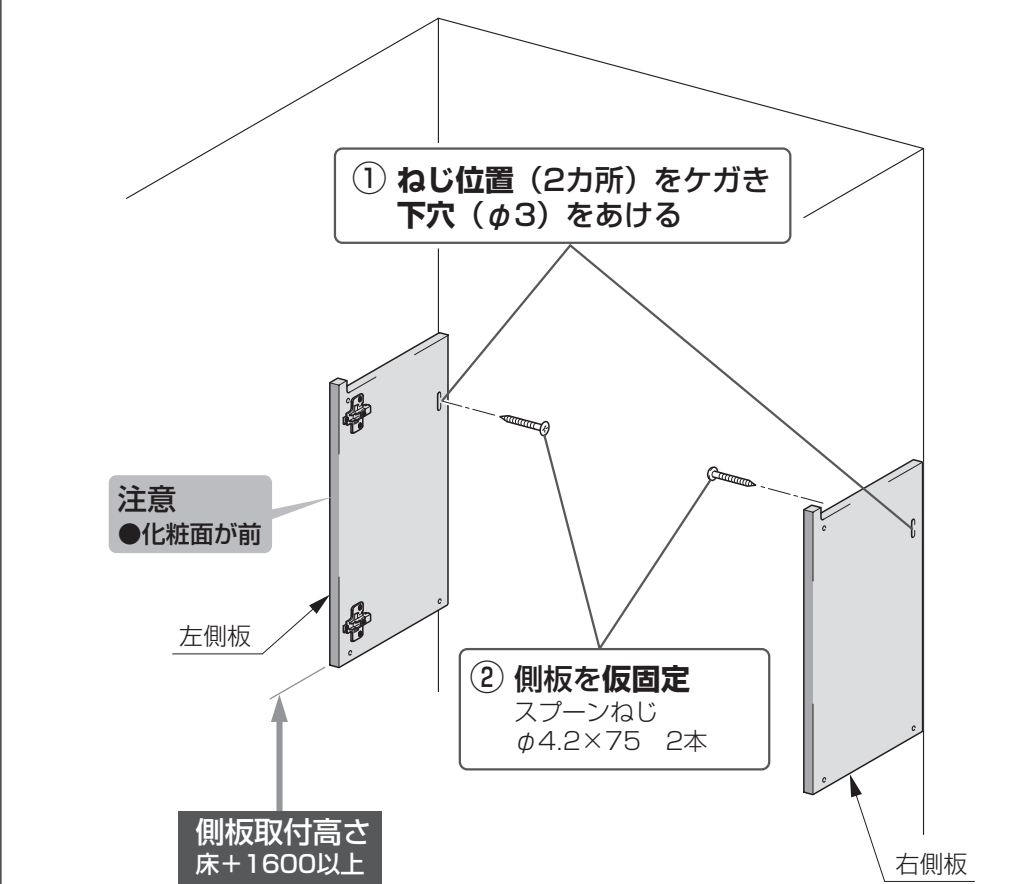
直射日光が当たる場所は必ずカーテンなどでさえぎってください。またスポット照明や殺菌灯を直接当てないでください。
※変色や変形の恐れがあります。

酸・アルカリ性および塩素系の洗剤類、ベンジン、シンナー、ラッカー、アルコール等の溶剤や油類を使用して、商品を拭かないでください。またこれらの溶剤や油類を流さないでください。
※変色や変形の恐れがあります。(溶剤がつくと跡が残ることがあります。)

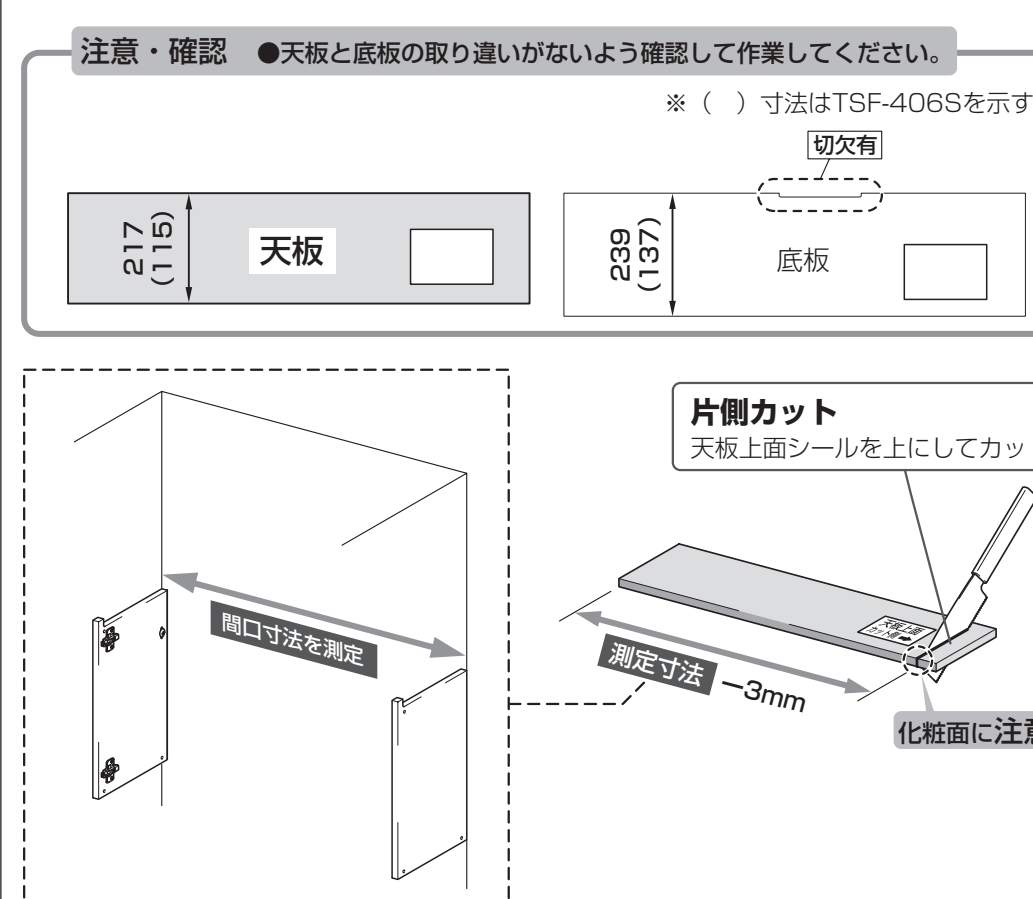
扉は確実に取り付けてください。
※取付後に扉のスリ、傾きがあるときは丁番を調整してください。(丁番の調整は「9. 丁番の調整」の項をご覧ください。)

● 施工方法

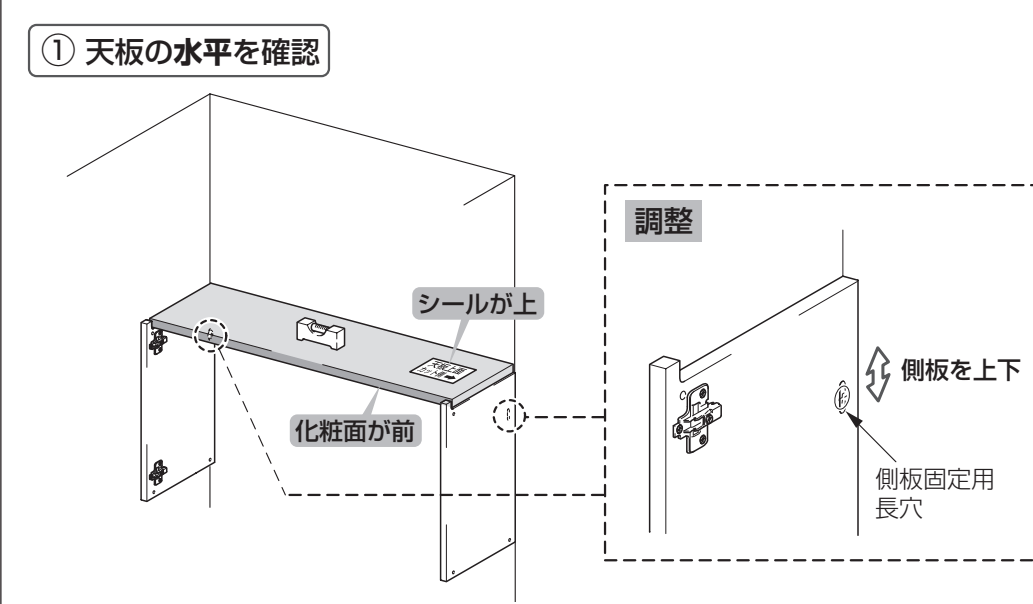
1、側板の仮固定



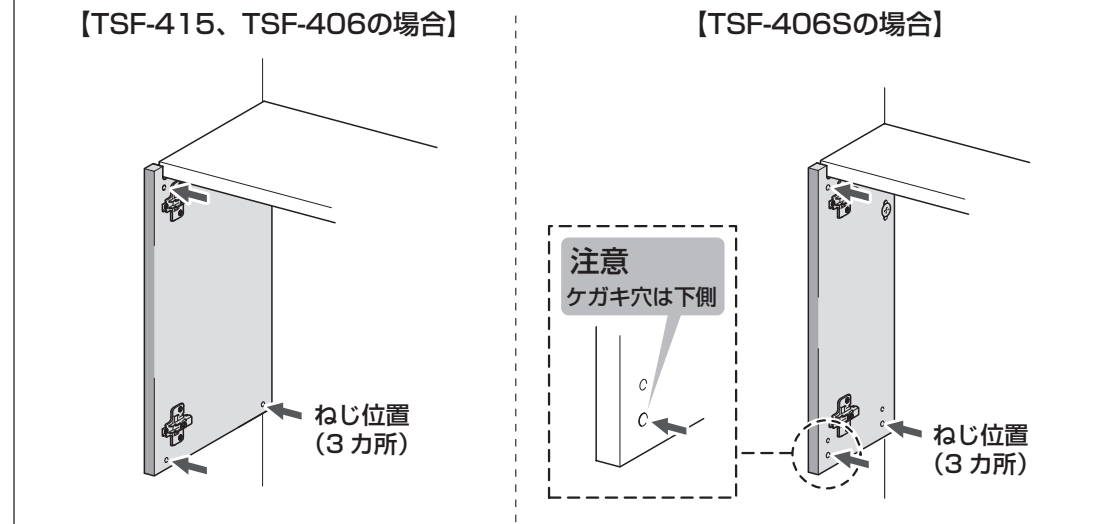
2、天板のカット



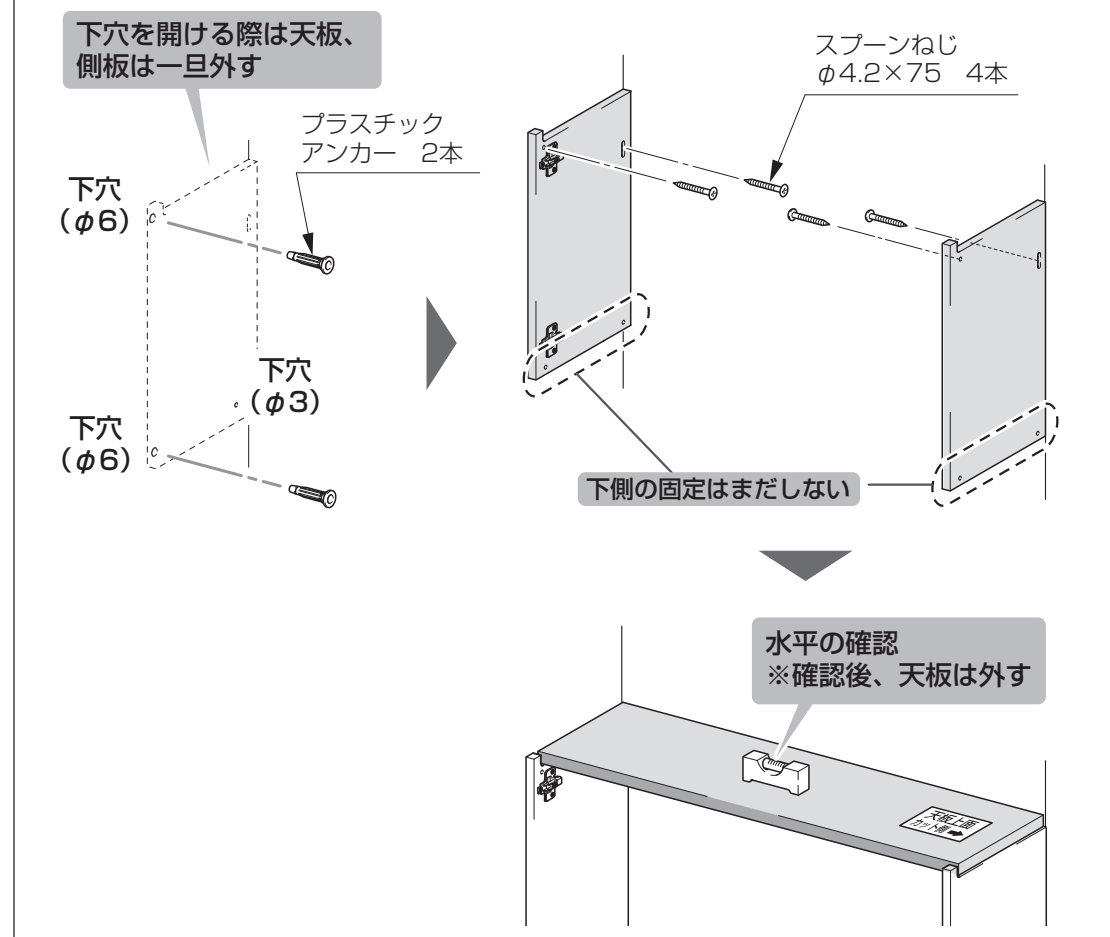
3、側板の本固定



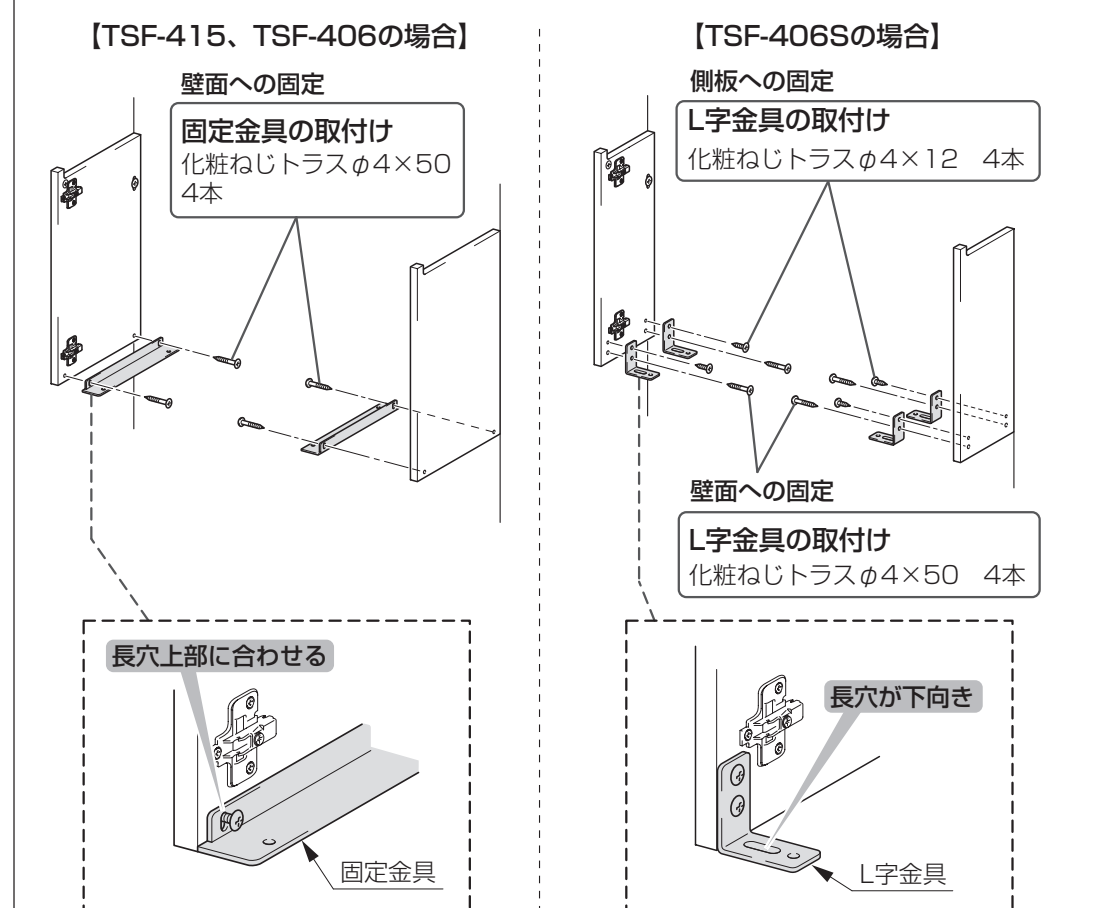
② ねじ位置 (3カ所) をケガキ



③ 下穴をあけ、プラスチックアンカーを取り付ける。側板を本固定し、天板を乗せて水平の再確認をする。



4、金具の取付け

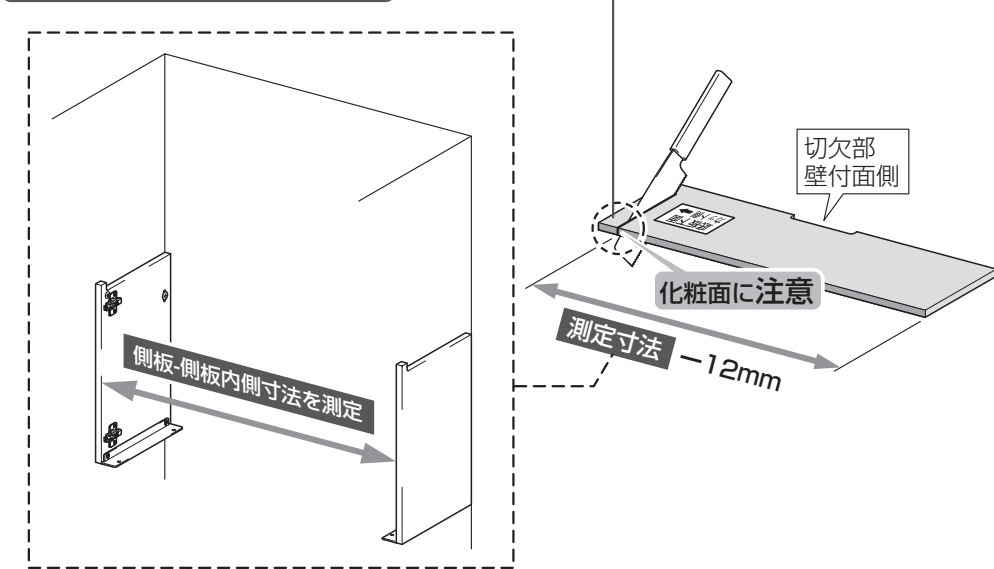


裏面に続く

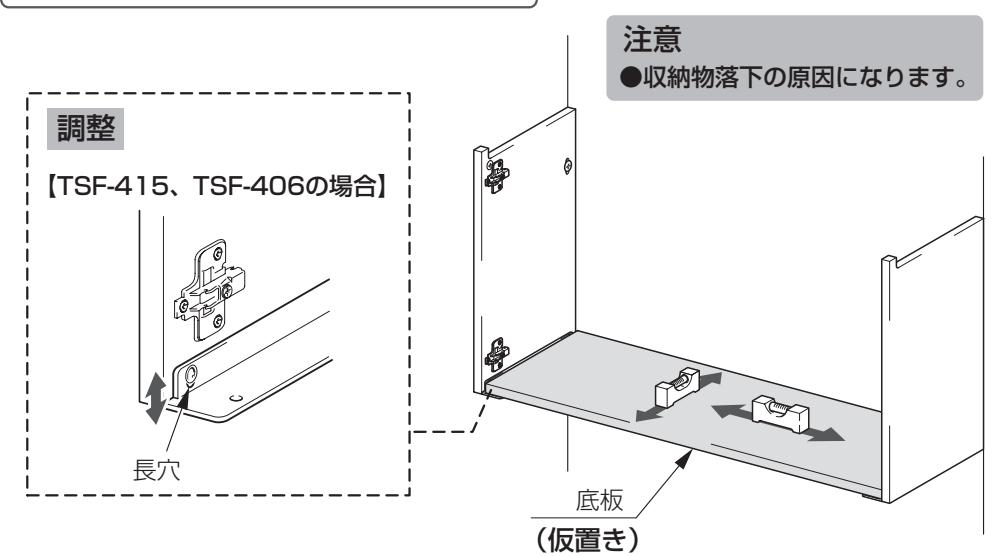
5、底板のカットとL字金具の取付け

① 片側カット

底板下面シールを上にしてカット

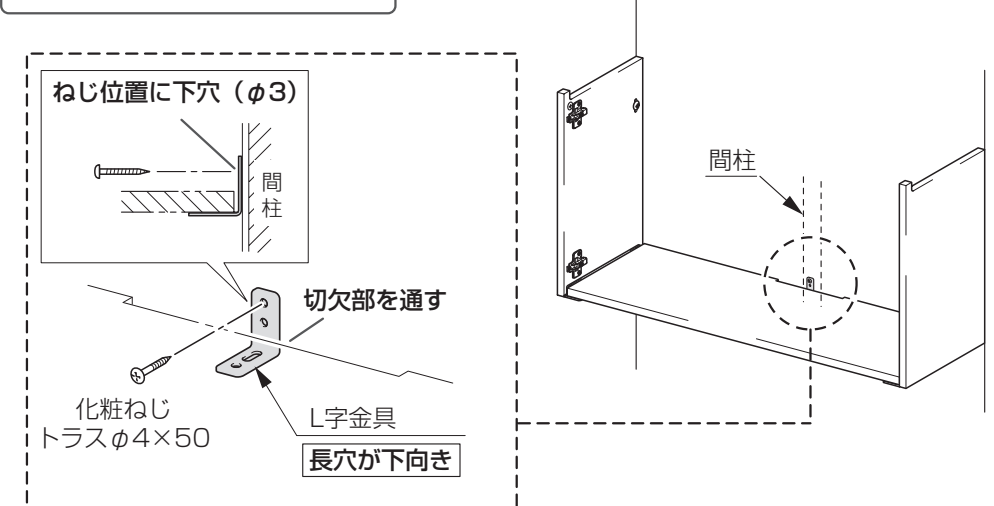


② 底板の水平を確認 (前後左右方向)



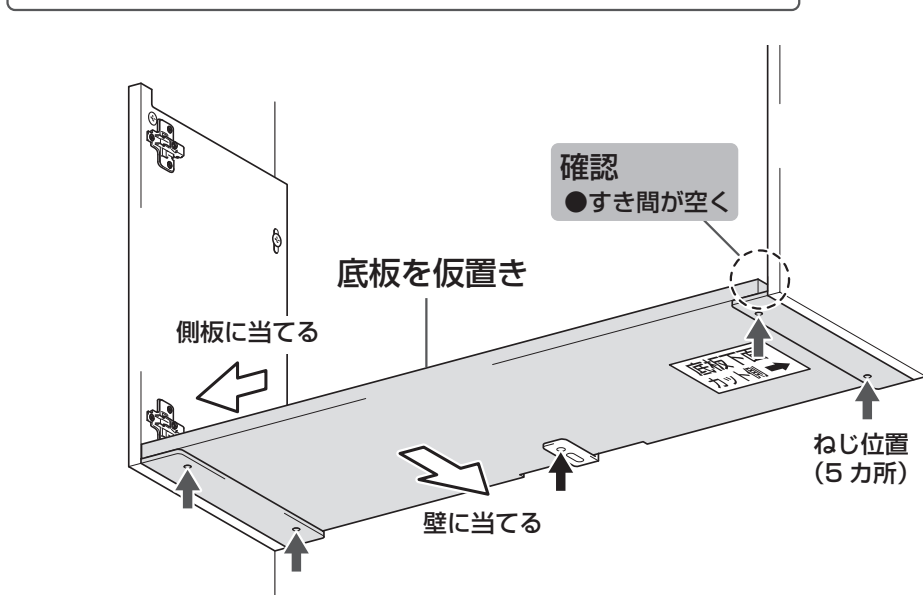
③ L字金具の取付け

※ここで底板の固定はしない

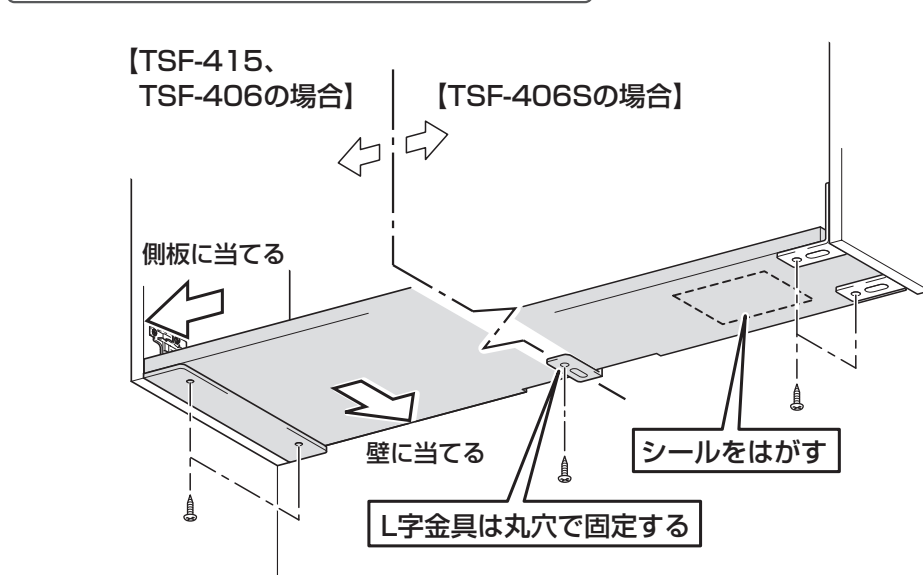


6、底板の固定

① ねじ位置 (5カ所) をケガき下穴 (φ3) をあける



② 底板を固定 化粧ねじトラスφ4×12 5本



7、扉の取付け

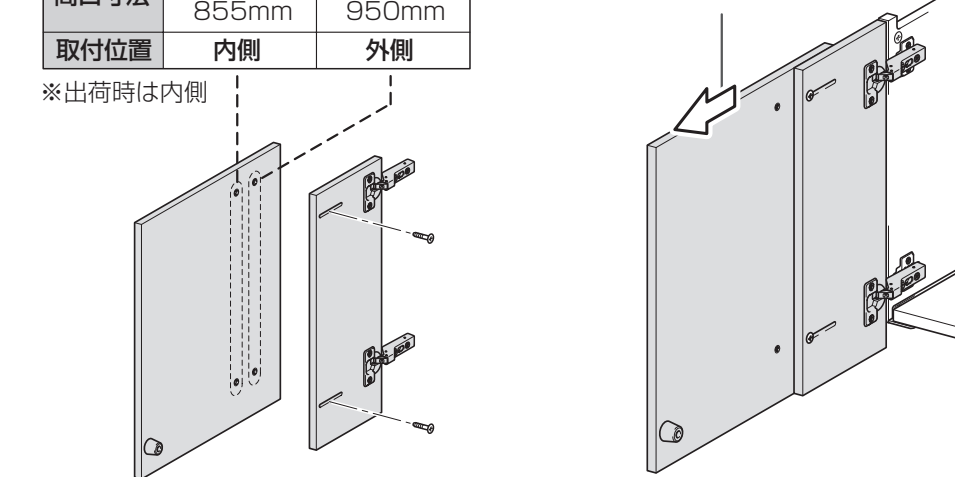
① スライド扉の仮固定

取付位置の確認

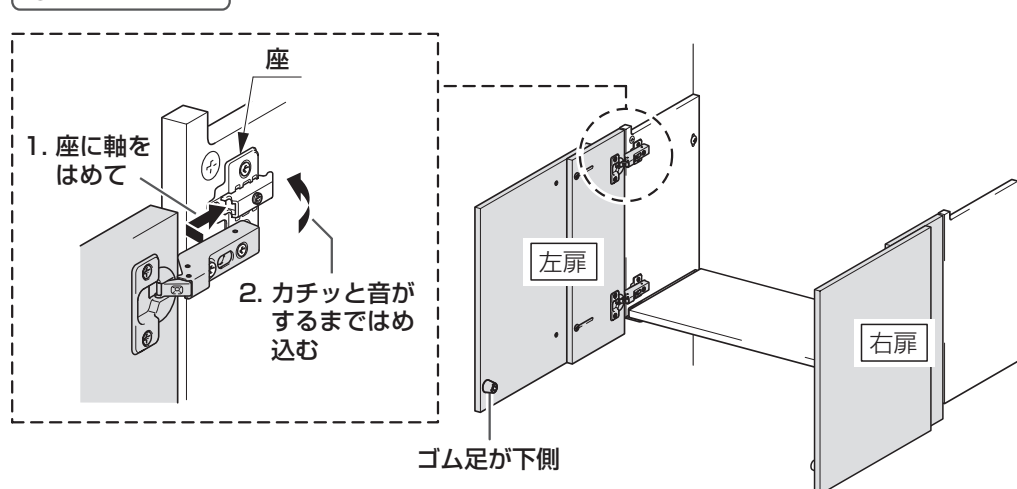
間口寸法	750~855mm	856~950mm
取付位置	内側	外側

※出荷時は内側

注意 ●扉を取付ける際、扉が壁に干渉し、壁・扉を傷つける恐れがあります。最大に伸ばして仮固定する。



② 扉の取付け



8、扉の間口合わせ

① 固定ねじ (上下) をゆるめる

ポイント

動かすと容易に動き、手を離すとその位置で動かす止まる程度のねじ締め込み

※バネワッシャーが少ししまる状態。

② すき間の調整

ポイント

扉をゆっくりと閉め、小口化粧カバーに合わせ、すき間を調整する

確認

- すき間が間口中央にきている
- すき間が上から下まで均一
- 左右の幅 (a) が均等

③ 扉固定ねじ (上) の本固定

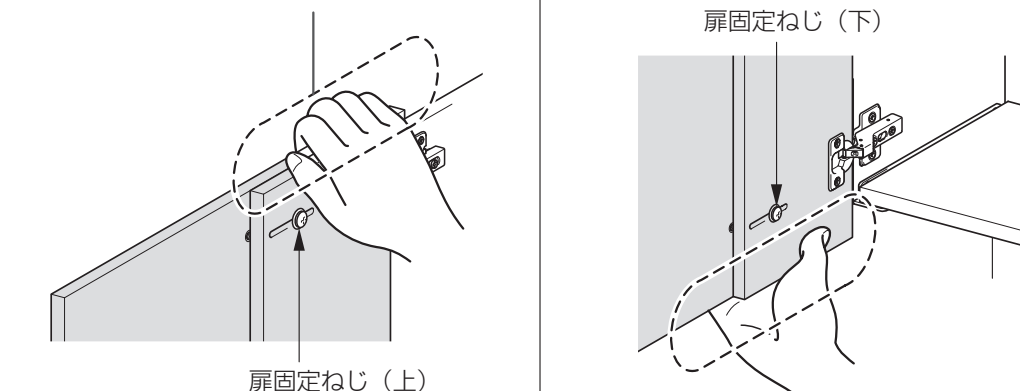
ポイント

扉をゆっくりと開け、上部を持ち扉がずれないようにする

④ 扉固定ねじ (下) の本固定

ポイント

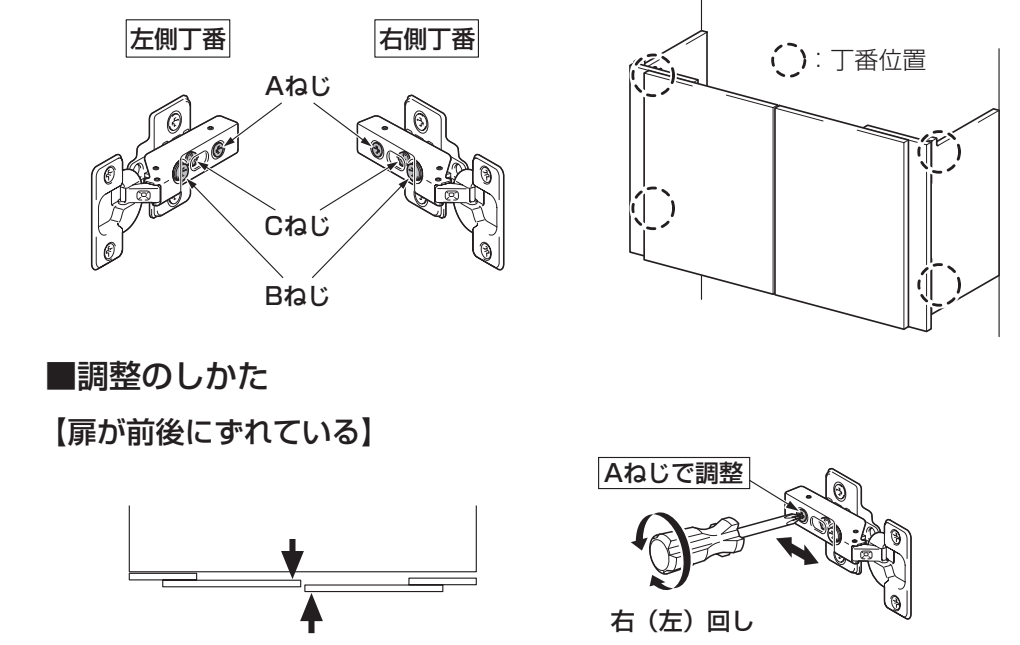
下部を持ち、扉がずれないようにする



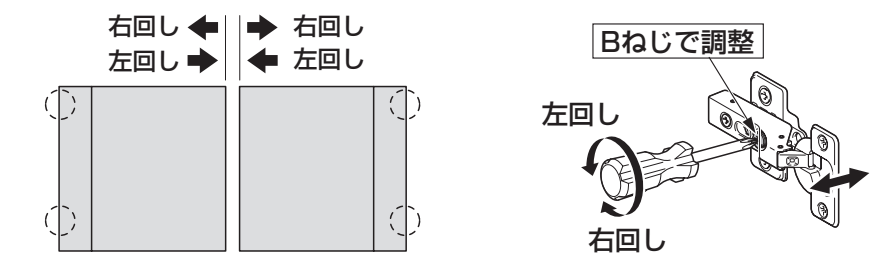
※バネワッシャーがつぶれた状態から1/2回転以上締め込む程度

9、丁番の調整

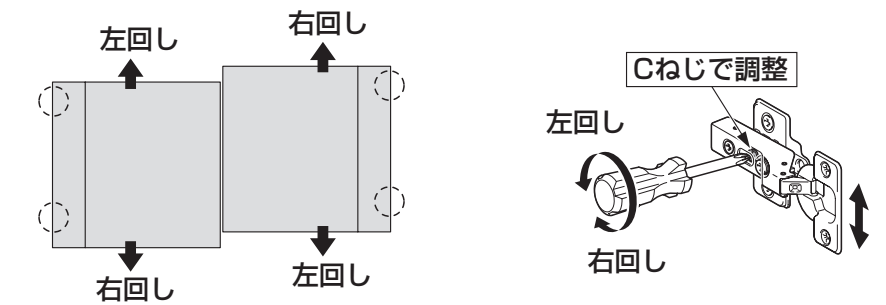
扉に前後・高さのずれ、傾きがある場合は丁番で調整します。



【扉のすき間が上下で違う】

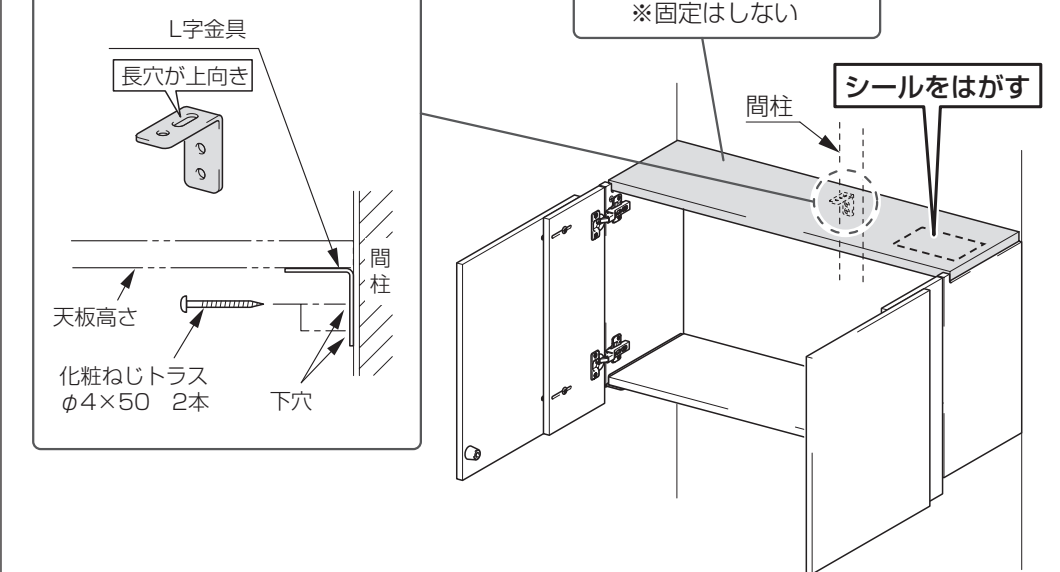


【扉が上下にずれている】

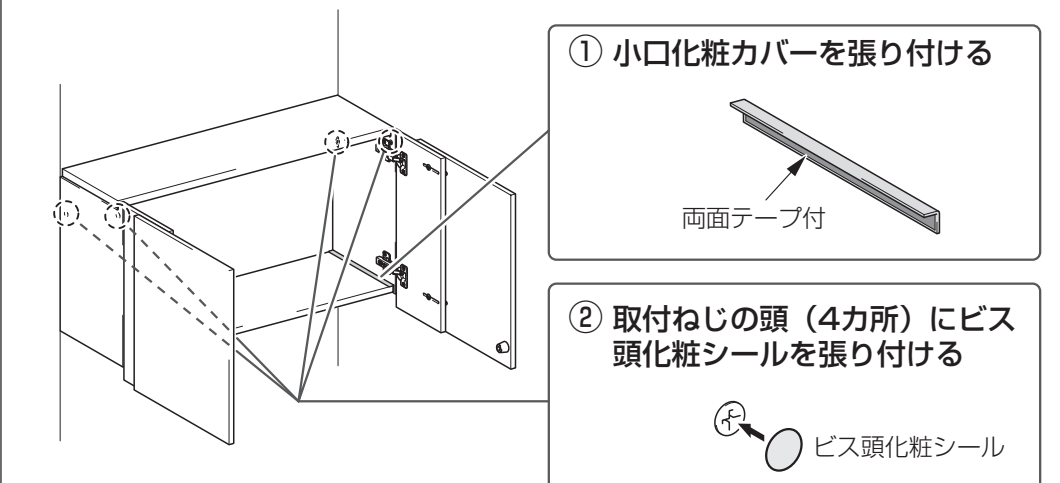


10、L字金具と天板の取付け

① L字金具の取付け



11、小口化粧カバーとビス頭化粧シールの張付け



●施工完了後、天板と底板に張ってあるカットシールをはがしてあることを確認してください。